

技術・家庭科の学習

わたしたちは、毎日多くの人とかかわり、たくさんの道具やものを使って生活しています。長い人間の歴史の中で、豊かで楽しく心地よい生活をするために、人とかかわり方やくらしの知恵が生まれ、生活をより便利に、豊かにする「もの」が工夫されてきました。

1 なぜ、技術・家庭科の学習をするのでしょうか？

技術・家庭科では、生活に必要な知識と技術を身に付けること、生活と技術の関わりについて知ること、生活を工夫し創造する力を身に付けて自立した生活に役立てることを目的としています。

2 授業で準備するもの

- ・ 教科書・学習ノート
- ※実習の時には、実習に必要な道具等



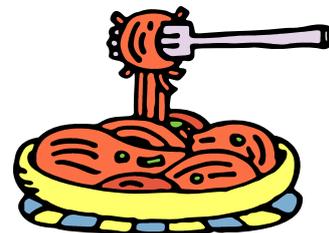
3 学習内容

(1) 技術分野

- A. 材料と加工の技術
- B. 生物育成の技術
- C. エネルギー変換の技術
- D. 情報の技術

(2) 家庭分野

- A. 家族と家庭生活
- B. 衣食住の生活
- C. 消費生活・環境



4 授業で大切にしたいポイント

- (1) 実習・製作を中心とした教科です。各自で準備するものを忘れないようにしましょう。
- (2) 授業のプリントは、ノートに貼るか、ファイルにとじましょう。
- (3) 最初から作品を上手につくれる人はいません。失敗をしてもあきらめずに最後まで取り組みましょう。
- (4) たくさんの道具や機械を使いますが、危険な物もあります。楽しく授業をするために先生の話をよく聞いて、作業中は作業を中断して集中して聞くようにし、「人をけがさせない、自分もけがをしない」ように気をつけましょう。
- (5) 班活動など、友達と協力する場面が多いので、お互いに助け合い、工夫し、学び合いましょう
- (6) 学習を通して、人や物、お金の大切さを知り、感謝の心を持ちましょう。

5 ノートやワークシートの使い方

大切な言葉や、計算のしかたなど他の教科のように覚えることがあります。先生の説明で大事だなと思ったことは、しっかりノートに書いておきましょう。

6 技術・家庭科の学習内容と、生活の中での実践

- (1) 技術・家庭科では、よりよい生活のために、必要な「もの」についての知識やしくみを理解し、実際の生活での活用について学びます。学んだら活用してみましょう。
- (2) 生活に結びつけるためには、頭で理解するだけではなく、実際に手や体を動かして体で体験することが必要です。そのために、実習を行い、その過程で創意・工夫する力やものをつくる技術を習得します。実習を大切にしましょう。そして、つくることの大変さを考え、物を大切に使い、作った人に感謝しましょう。
- (3) 近年は高度情報通信社会と呼ばれるように、生活の中でコンピュータ等の占める割合が非常に大きくなっています。そこで、コンピュータ等の利用についても学習します。賢い活用方法を身に付けましょう。
- (4) よりよい生活のためには、周囲の人との関係を良くすることも大切です。家族や学校の友達、地域の人々との関係について考え、豊かなかかわり方を工夫しますので、実生活でやってみましょう。
- (5) また、自分のくらしと環境とのかかわりについて考え、実践する力を養います。身近な環境から地球環境まで考えた生活を実践してみましょう。

7 定期テスト前後の勉強はどのようにすればいいのでしょうか？

- (1) テストの約2週間前には、テスト範囲表が配布されるので、範囲を確認しましょう。
- (2) 教科書やノート、プリントの復習をしっかりとっておきましょう。